

当院を受診された患者さんへ

当院では、下記の研究に情報の提供のみを行う機関として、対象者の方の診療情報を提供します。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内で閲覧することができますのでお申し出ください。

この研究は、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の治験・臨床研究審査委員会で審査され、病院長の許可を得て実施しています。情報の提供については当院院長の許可を得ています。

研究課題名	腎移植後患者の骨折イベントの背景因子と予後についての研究
研究実施期間	2024年9月20日～(西暦)2028年3月31日
研究責任者	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 移植外科 平光 高久
対象となる方	(西暦)2010年1月1日～(西暦)2023年12月31日に、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院移植内科・移植外科・内分泌外科において、腎移植術を受けた18歳以上の方
研究の意義・目的	慢性腎臓病はビタミンDの活性化が抑制され、副甲状腺機能が亢進することで全身の血管の石灰化や骨粗鬆症を引き起こします。慢性腎臓病患者さんや維持透析患者さんの骨折については多くの報告があり、予後が悪化することも知られています。しかし腎移植後患者さんの骨折についての研究は非常に少なく、腎移植と骨折の関連についてはまだ十分にわかっていません。そのため本研究で腎移植後患者の骨折のリスク因子と予後を明らかにします。
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、統計学的に検討します。
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離れた状態で使用します。(年齢、体重、性別等の基本情報、腎移植術の情報、骨折イベントの情報等)
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。

利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
診療情報提供不可のお申し出先、お問い合わせ先	施設名：増子記念病院 担当者：腎移植科 松岡 裕 腎移植科 打田 和治 住所：〒453-8566 愛知県名古屋市中村区竹橋町 35-28 電話番号：052-451-1307